

小便器用消臭剤 バイオブロック

トイレ小便器のニオイと詰まりを防止するバクテリア固形剤です。バクテリアはトイレの汚れや悪臭成分を餌として食べ、環境に無害な水と二酸化炭素に分解します。トイレを使用するたびにブロックからバクテリアが溶け出しトラップや排水管にバイオフィルムとして定着していくため、きれいな状態が長続きし、毎日の清掃が楽になります。また特殊設計されたスクリーン（網目）がゴミをキャッチするため、異物による排水管詰まりを防ぎます。男子用小便器の目皿部分に置くだけで設置が簡単で手間もかかりません。

提案先	ビルメンテナンス会社、清掃会社、飲食店、宿泊施設、遊戯施設、公共施設等
用途	小便器（男子便器）の消臭・尿石防止
外観、香り	青色個体、微香
成分	成分／バクテリア、界面活性剤、香料、着色剤
メリット	○塩素や酸を使わず、便器や排水管を傷めない ○悪臭の発生や尿石を持続的に防止 ○目皿付近に置くだけで設置が簡単 ○交換頻度が一目でわかる
使用方法	男子便器の目皿の上に設置します。中の青いブロックがなくなれば新しいものと交換して下さい。 交換時期の目安：男子便器1台あたり、3週間～4週間で交換

他社品との違い	<u>他社品（一例）</u>	<u>バイオブロック</u>
	○香りで悪臭をマスキングするだけ ○塩素や酸を使用	○バクテリアが悪臭を元から分解 ○バクテリア主成分で排水管や環境にやさしい

仕様

商品名	容量	入数	商品写真	JANコード	QRコード
バイオブロック	100g	12			

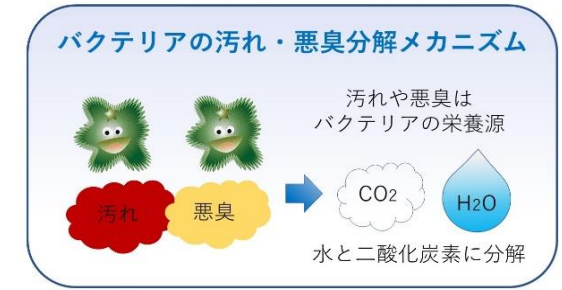
内容成分

○バクテリア

バクテリアは別名微生物とも呼ばれ、大きさは約1,000分の1ミリ（1マイクロメートル）の小さな生き物です。（人の毛髪の太さ（約0,1mm）のさらに100分の1の大きさ）・バクテリアは商品ボトルの中では、芽胞（殻）を形成し、休眠状態で保存されていますが、水や栄養源（汚れ）に触れることにより目を覚まし活性します。例えば、植物の種を土（栄養源）に植え、水をかけると殻を破り発芽するイメージです。・バクテリアは私たち人間が排出した汚れ（有機物）を栄養源として体内に取り込み、水と二酸化炭素に変えていきます。栄養源を得たバクテリアは15～20分後に一度細胞分裂を繰り返します。・バクテリアには酸素がないと活性しないタイプ（好気性）や酸素がなくても活性できるタイプ（嫌気性）が存在しますが、弊社のバクテリアは好気性及び通性嫌気性です。・バクテリアも生き物ですので、極度の低温、高温では活性しません。約5℃～60℃までが活性範囲です。

○界面活性剤

非イオン系の界面活性剤を微量に配合しています。界面活性剤の働きで有機物に変化し、バクテリアがより早く消化できるというメリットがあります。



尿石・悪臭の原因と防止効果

尿石や悪臭の発生原因は①尿に含まれる尿素、②雑菌、③水に含まれるカルシウムが関係しているといわれています。

<尿石・悪臭の発生原因>

- 1、尿に含まれる尿素が便器内に生息している雑菌に分解され、アンモニアに変換される。
- 2、アンモニアにより、便器内がアルカリ性の環境になる。
- 3、水に含まれるカルシウムイオンが、溶けにくい塊（炭酸カルシウム、リン酸カルシウム）に変化する。

<バイオブロックの防止効果>

バイオブロックのバクテリアは、①尿素を水と二酸化炭素に分解し、②雑菌の活動を抑制するため、尿石やアンモニアの発生を持続的に分解することができます。

バイオブロックはこんなお客様におすすめです

毎日のトイレ清掃作業を楽にしたい

→バイオブロックを設置することで便器や排水管をバイオフィルム※でガードし、防汚、防臭効果が長続きます。

※バイオフィルム・・・バクテリアがフィルム状に定着し、安定的に活動する作用

便器や排水管にやさしい商品を使いたい

→塩素も酸も使わず、腐食や塩素ガス等の発生リスクがありません。

トイレから悪臭が発生している

→バクテリアがニオイを元から分解し、雑菌の繁殖も抑えます。

バイオブロック Q&A

Q 使用した後、水を流せばバクテリアは流れてしまうのではないですか？

A 水を流すと一部のバクテリアは流れてしまいますが、継続的に使用する事で、便器表面、目皿または排水管内部に少しずつ定着し、バイオフィルムを形成していきます。

Q 尿石も除去できますか？

A 中性タイプのため尿石を溶かすことはできません。すでに固い尿石が付着している場合は一度尿石除去剤で取り除いてからバイオブロックを設置してください。

Q 浄化槽に悪影響ありますか？

A 殺菌剤や強酸性ではなく浄化槽に悪影響を及ぼしません。浄化槽に有機分解作用のあるバクテリアが流れ込むことにより浄化槽の活性も高まり、常在菌（もともと浄化槽に生息する菌）との相乗効果が期待できます。